

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 8 年 度 第 2 回 行 田 市 地 域 公 共 交 通 会 議
開 催 日 時	平成 2 8 年 7 月 7 日 (木) 開 会 ; 1 0 時 3 0 分 ・ 閉 会 ; 1 1 時 3 5 分
開 催 場 所	行 田 市 産 業 文 化 会 館 第 2 会 議 室
出 席 者 (委 員) 氏 名	川 島 将 史 (副 市 長) 高 橋 直 樹 (代 理 : 石 倉 氏) 鈴 木 貴 大 長 島 豊 (代 理 : 小 林 氏) 新 井 忠 晴 鶴 岡 洋 (代 理 : 金 川 氏) 高 原 昭 小 池 利 昌 柳 瀬 光 輝 (代 理 : 六 所 氏) 中 村 仁 今 野 勉 能 勢 一 幸 小 倉 輝 男 小 林 修 (建 設 部 長) 田 尻 要 島 田 徹 (総 合 政 策 部 長) 藤 井 宏 美 (市 民 生 活 部 長) 竹 井 英 修 (健 康 福 祉 部 長) ※ 敬 称 略
欠 席 者 (委 員) 氏 名	大 澤 邦 夫 田 島 幸 夫 小 林 乙 三 (環 境 経 済 部 長) ※ 同 上
事 務 局	【 地 域 づ く り 支 援 課 】 菅 原 課 長 、 吉 田 主 幹 、 角 田 主 査 、 西 尾 主 任
会 議 内 容	(1) 平 成 2 9 年 度 か ら の 市 内 循 環 バ ス の 運 行 に つ い て (2) 行 田 市 デ マ ン ド タ ク シ ー (利 用 補 助) 制 度 【 案 】 に つ い て
会 議 資 料	・ 平 成 2 9 年 度 か ら の 市 内 循 環 バ ス の 運 行 に つ い て [資 料 1] ・ 行 田 市 デ マ ン ド タ ク シ ー (利 用 補 助) 制 度 【 案 】 [資 料 2] ・ 市 内 循 環 バ ス 全 路 線 図
そ の 他 必 要 事 項	傍 聴 人 1 名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言 ・委員変更の報告（小川委員から小池委員へ） ・欠席及び代理出席の報告 ・会議公開の旨の報告 ・傍聴人数（1名）の報告 など
会 長	<p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ
司 会	<p>3 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱の規定により、会議の議長を会長が務める旨の説明
事 務 局	<p>(1)平成29年度からの市内循環バスの運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1「平成29年度からの市内循環バスの運行について」及び「市内循環バス全路線図」に基づき説明
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問等があれば、発言をお願いしたい。
柳瀬委員代理	<ul style="list-style-type: none"> ・定期運行する路線については、道路管理者や公安委員会との調整が必要となるが、一部路線に係る運行ルートの変更に際し、そのような調整はされているか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階において未調整であるが、今後、調整を進めていきたい。
柳瀬委員代理	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートについても、たとえば駅に乗り入れるなど細かい部分についても、まだ決定していないということか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・想定するルートを資料の中で提示したところではあるが、詳細については今後詰めたいと考えている。
柳瀬委員代理	<ul style="list-style-type: none"> ・車両を小型化する東、北東及び北西循環コースについて、バリアフリー法に対応した車両としなければならないので、遺漏なきようお願いしたい。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
新井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・100円又は150円という運賃の設定根拠と、収支の見込

事務局	<p>みを聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の会議でも説明したとおり、消費税率の改定や燃料費の高騰、民間路線バスの運賃と乖離があることに加え、南大通り線、西及び観光拠点循環コースが、他の3コースと比較して利便性の高い路線であることや、事業自体の持続可能性など、様々なことを総合的に勘案し、150円への値上げをお願いするものである。 ・ 収支の状況については、平成27年度実績として、6コース全体で9,199万2,660円の運行経費に対し、2,106万5千円の運賃収入であった。差し引き7,092万7,660円が市の負担額である。 ・ 6コースで7台の車両が稼動しているので、1台あたり1千万円程度の経費を要した計算となる。
新井委員 事務局 新井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度からの運行経費はどのように見込んでいるか。 ・ 全体で1億1千万円程度になると見込んでいる。 ・ 減便するコースもあるのに、経費が増えるのはどういうことか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の小型化や減便により削減が見込まれる面もあるが、消費税増税や燃料費高騰などの諸状況を考慮して見込んだものである。
能勢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの説明で、新しい時刻表に関してはダイヤの微調整程度と伺っているが、秩父鉄道の各駅に乗り入れているコースについて、電車の運行ダイヤを考慮した時刻表となっているのか。考慮されていないようであれば、今後、考慮すべきではないか。 ・ また「ぐるっと便利帳」についても“市民の移動”という視点に立てば、市内循環バスだけでなく、路線バスについても掲載した方が、より役立つのではないか。こちらも併せて検討していただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父線のダイヤとの接続に関しては、可能な範囲で調整させていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐるっと便利帳」など時刻表については、路線バス事業者と調整した上で、可能な範囲で対応させていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に何かあるか。 ・特になければ、事務局案のとおりとし、今後、事業者選定等を進めていくこととして宜しいか。 <p style="text-align: center;">（異議なし）</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、この件については承認をいただいたということで進めさせていただく。
	<p>(2)行田市デマンドタクシー（利用補助）制度【案】について</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2「行田市デマンドタクシー（利用補助）制度【案】」に基づき説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問等があれば、発言をお願いしたい。
高原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一点目。協定を締結する運行事業者は、行田市に事業所を有し、市税を納入している事業者になると解釈して宜しいか。 ・二点目。対象者の拡大については、制度導入後にご検討いただけるとのことで承知したが、他市の制度に見られるように、妊婦や運転免許証返納者、未就学児などへ拡大することを検討していただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・三点目。利用回数の制限は設けるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一点目。市内で営業している事業者等を中心に声を掛けさせていただきたいと考えている。 ・二点目。制度開始後は、利用状況やアンケート調査、市民からの要望、財政状況など様々な要素を勘案しながら検討していきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・三点目。利用回数の制限を設ける予定はない。
高原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー利用料金の助成制度に係るチケットの枚数が減

<p>事務局</p> <p>鈴木委員</p>	<p>ることではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本制度は、福祉タクシー料金の助成制度とは異なるものであり、制度導入を機に減らすことはない。 ・一点目。対象となる障がい者については、障害の程度や種別に関わらず、全てと捉えて宜しいか。 ・二点目。運行時間帯については、午前8時30分から午後5時までとなっているが、全て「乗車する時間」という解釈で宜しいか。たとえば、午後5時になったら途中で降車させられるようなことはないか。 ・三点目。迎車料金は助成の範囲内として含まれるか。 ・四点目。利用額と市の負担額の見込みはどの程度か。
<p>事務局</p> <p>新井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一点目。障害者手帳の交付を受けている方全員が対象である。 ・二点目。「乗車する時間」である。 ・三点目。今後、事業者と調整していきたいと考えている。 ・四点目。東松山市の事例を参考に、市の負担額を年間で1千万円～2千万円程度、一人あたり約1,500円程度と見込んでいる。 ・利用額の見込みについては、対象者が限定されるため、もっと低くなると思う。 ・これまで、対象者の年齢要件の引下げをお願いしたいと申し上げてきたが、どうか。 ・また、運行区域については、市内全域となっているが、乗車、降車のいずれかが市内であればよいのか、あるいは乗車、降車とも市内でなければならないのか。
<p>事務局</p> <p>新井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢要件については、先ほども申し上げたとおり、制度開始後における利用状況やアンケート調査、市民からの要望、財政状況など様々な要素を勘案しながら検討していきたい。 ・運行区域については、乗車、降車とも全て市内となる。 ・乗車、降車とも市内に限られるとなると、4千円以上の利用

事務局	<p>はずまいと思う。また、自宅は乗降場所として含まれるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たとえば須加地区からJR行田駅まで利用した場合、4千円を超えるようである。 ・利用者の自宅は登録するため、乗降場所に含まれる。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金（利用者負担）は、一人あたりではなく一台あたりということで宜しいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でも県北地域、その中でも特に高齢化が顕著な行田市において、様々な制度を検討し、導入していただけるのは大変ありがたい。 ・先ほど「市民の要望を踏まえて」という発言があったが、今後、対象年齢の拡大や運行時間の延長、乗降場所の市外への拡大など、市民からの要望はきりが無いと思う。 ・極論は「24時間365日、いつでもどこでも迎えに来てくれて無料で乗れる」ということになると思うが、便利ではあるものの、財政負担は果てしないものになってしまうだろう。 ・この会議の第一義的な役割は、行田市の地域公共交通の利便性を向上させることにあると思うが、同時にブレーキ役も果たさなければならないと、他の委員とも常に話している。 ・要はバランスが大事で、バランスを取りながら我々も考えていかなければならないと思う。
新井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木委員の言われるとおりである。市の負担を増やすよりも減らす中で、より効率の良い地域公共交通網を構築していただきたいと思い、先ほどの質問をさせていただいた。 ・ぜひ、地域公共交通全体の中での予算の使い方を考慮しながら、できるだけ節減できる方向でサービスの充実を図っていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を参考に、検討を進めたい。

<p>議長 能勢委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他に何かあるか。 ・障がい者については、従来からの福祉有償運送や福祉タクシー利用料金の助成制度に加え、さらに選択肢が増えることになるが、福祉部局との摺り合わせは行っているのか。 ・共通乗降場所については、全ての医療機関を網羅する予定か。そうでなければ、取捨選択の基準を伺いたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この制度は、あくまで市内循環バスを補完するものとして位置付けているが、福祉部局との調整も行っている。 ・共通乗降場所については、公共性や妥当性など様々な観点から、現地調査も行った上で検討し、決定したいと考えている。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、何かご意見等はあるか。 <p style="text-align: center;">(なし)</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、現状では循環バスに7千万円程度を支出しているわけである。 ・事業者の皆様も日々、経営等の努力をされていると思うが、行田市の地域公共交通のあり方をどうすべきか、皆様のご協力をいただきながら、市として進めていきたい。 ・ご意見等がないようであれば、この件については承認をいただいたということで、事業開始に向けて進めさせていただいて宜しいか。 <p style="text-align: center;">(異議なし)</p>
<p>議長 司会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重審議に感謝する。これにて議長の職を解かせていただく。 <p>4 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉会を宣言 (11:35 終了)